



もみぢ葉合
心あらへて名をよし
至り三十歳

返春
今宵の入縫

蜂須賀齊裕画像
当館蔵

第三回

阿波秘曲「紅葉合」

いにしへ
古の歌を紡いで
ちへ

謡曲
紅葉合

2018.

11/18日

14:00PM開演

会場=徳島城博物館ラウンジ

●入館料／大人500円 高・大生300円 小・中学生無料
※20名以上の団体は2割引

協力：ジャポニスム振興会、(有)友江製糖所



「六段」
「紅葉合」
「千鳥」
「春の海」

*
ヘンデル 「泣かせて下さい」
ヘンデル 「オンブルアマイフ」
雅楽古典 「調子」
バッハ 「主よ人の望みの喜びよ」
モンティ 「チャルダッシュ」
ピアソラ 「エスクアロ」

*
豊さんのお話し
笙と子どもたちの笙でさくらを合奏

笙：豊 剛秋
ソプラノ：齋藤とし子
箏：猪井恵朱

朱音会
(白田智朱、増田規朱、柿原箏洋
喜多はるみ、松岡さゆり
多田啓夏、多田光葉)

尺八：木南征山

※演奏曲目、演奏順序等は変更する場合があります。

徳島市立 徳島城博物館

〒770-0851 徳島市徳島町域内1番地の8(徳島中央公園内)
TEL (088)656-2525 FAX (088)656-2466
<http://www.city.tokushima.tokushima.jp/johaku>

箏曲 阿波秘曲「紅葉合」

—師匠から弟子、そして未来へ—

今年は千数百年の伝統を有する「雅楽」その中の管楽器「笙」の演奏家で宮内庁楽師を務める豊剛秋氏をお招きし華を添えていただきます。また、高校時代の恩師武市鳴雲先生が齊裕公の和歌を軸にしてくださいました。私にとっては嬉しい贈り物となりました。

心に響く素晴らしい音色にふれて、楽しい一日を過ごして頂けましたら幸いです。
猪井 恵朱



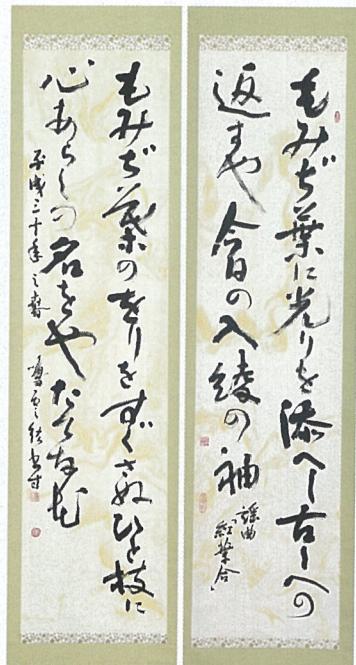
ぶんの たけあき
豊 剛秋 (笙)

1000年来、代々雅楽の笙を家業とする「楽家(がつけ)」に生まれる。笙、歌、舞、琵琶の他、ピアノ、ヴァイオリンも修得。宮内庁楽部樂師養成課程修了。早稲田大学社会科学部卒業。宮内庁のメンバーとしては宮中祭祀での演奏をはじめ、国内外でのコンサートに多数出演。また一方で、多ジャンルのアーティストとのコラボも、都内ライブハウスを中心に行っている。特に、自身が最も敬愛するブラックミュージック(ブルース&ファンク)と雅楽の融合を目指した自作、アレンジ曲は好評を博している。現在、宮内庁式部職樂部樂師。重要無形文化財保持者。



たけいち
武市

めいうん
鳴雲



昭和38年香川大学卒。
書道研究「璞社」参与、「直心会」顧問
県高校書道学会顧問
県書道協会顧問県美術書道部常任委員、県展招待
県書展運営委員・審査員・相談役
放美展審査員

齋藤とし子 (ソプラノ)

国立音大ピアノ科、聖書宣教会教会音楽科卒業。オルガンを岳藤豪希、今井奈緒子、松居直見、川越聰子の各氏に、声楽を波多野睦美、野々下由香里の各氏に師事。お茶の水聖書学院教会音楽科講師、日本オルガニスト協会会員。

木南 征山 (尺八)

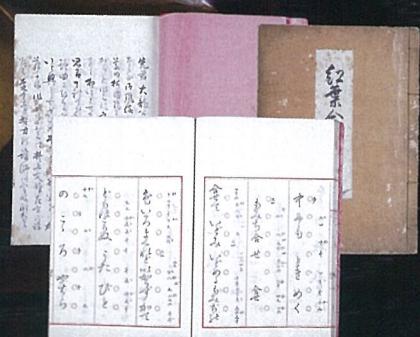
尺八奏者。徳島城博物館で毎年開催されている「華麗なる技の競演」をはじめとする邦楽ライブに、これまで多数出演。

猪井 恵朱 (箏)

(一財)日本当道音楽会所属。朱音会主宰。阿波秘曲「紅葉合」16人目伝承者。徳島県邦楽協会常任理事。徳島県三曲協会理事。「邦楽を愛好する子ども育成会」会長。徳島県芸術文化奨励賞受賞。「とくしま芸術文化賞」(徳島県文化振興財団)受賞。

「紅葉合」曲目解説：小川 裕久 (徳島城博物館)

阿波の秘曲とされる「紅葉合」は、万延元年9月に13代藩主蜂須賀齊裕が、浅草の梅園院で行われた紅葉の歌合(左右に分かれた参加者が、詠んだ和歌の優劣を競う文学的遊宴)に由来する。この歌合に勝利をおさめた齊裕が、これを記念して作らせたのが謡曲「紅葉合」である。明治になってこの謡曲を、松谷城隆、大崎城悦、立花丈千代の三人が箏曲に作り直し、蜂須賀邸での試楽を経て、明治17年9月28日、蜂須賀代々を祀る国瑞彦神社の歌会の席で初演された。その後は歌会や社頭での弾奏以外、通常の席では演奏されることも少ないまま、14人目伝承者である福島ウノ氏が受け継ぐ。しかし昭和34年、ウノ氏が77歳で亡くなられたのを最後に、誰にも演奏されることのない幻の箏曲—阿波の秘曲となってしまう。これを惜しんだ原田恵津子氏が、ウノ氏の姪にあたる福島葉那子氏から秘本の写しを譲り受けられ、「紅葉合」復曲に打ち込み、完成されたものである。



「紅葉合の曲 全」
当館蔵 (福島葉那子氏寄贈)